

# 法人研修開催



社会福祉法人若山会では、研修委員会を中心に様々なテーマで研修を開催しています。

令和4年度最初の研修は、令和4年5月26日(木)19:10から約1時間「施設長講話」ということで…

「2025～40年問題を探る 法人の3つの波(ウェーブ)」というテーマで、昨年度同様、コロナ禍という事もあり、ハイブリッド研修にて開催しました。

また、6月23日(木)19:10から「虐待防止」というテーマで、大分県社会福祉士会の本田 浩史様が「養介護施設従事者等による高齢者虐待類型(例)」「身体拘束」「コロナ過での施設の現状」などを分かりやすく説明していただき、とても有意義な研修会となりました。

新型コロナウイルス感染症への対策や介護人材不足等、様々な課題がありますが、社会福祉法人職員として、またサービスを提供する側として、入所者・利用者の皆様方から益々満足していただけるサービス提供をしていきたいと思いをします。

今後も様々なテーマの法人研修を開催し、若山会職員の更なる質の向上を目指していきたいと思いをしますので、何卒よろしくお願いいたします。

令和2年度「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況等に関する調査結果

(1)相談・通報者  
相談・通報者 2,390 人のうち、「当該施設職員」が 637 人(26.7%)で最も多く、次いで「当該施設管理者等」が 346 人(14.5%)であった。「家族・親族」は 332 人(13.9%)であり、令和元年度(499 人、18.9%)から減少した。

(2)事実確認の状況  
相談・通報の受理から事実確認開始までの期間の中央値は 4 日であり、相談・通報の受理から虐待判断までの期間の中央値は 34 日であった。

(3)虐待の発生要因  
「教育・知識・介護技術等に関する問題」が 290 件(48.7%)で最も多く、次いで「虐待を助長する組織風土や職員間の関係の悪さ、管理体制等」が 132 件(22.2%)、「職員のストレスや感情コントロールの問題」が 102 件(17.1%)、「倫理観や理念の欠如」が 87 件(14.6%)、「人員不足や人員配置の問題及び関連する多忙さ」が 63 件(10.6%)であった。



みんなの「生きる」を  
社会福祉法人

